

A1851

12系お座敷客車
「なごやか」斜め帯塗装 6両セット

予価:17,500円(税別)

JANコード:116586 カートン内入数:12

A1856

12系お座敷客車
「白樺」濃緑色塗装 6両セット

予価:17,500円(税別)

JANコード:116630 カートン内入数:12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)

実車

12系客車は1969(昭和44)年から9年間、合計で603両が製造された急行型座席客車のグループです。当初から冷房装置を搭載、分散型電源システムの採用、FRP製部品の多用などのちの国鉄客車の基幹技術確立した車両です。「なごやか」は1980(昭和55)年11月から翌年3月にかけてお座敷客車に改造され、尾久客車区(現:尾久車両センター)に配置されていた編成です。改造に際して片側のデッキが埋め込まれて小窓が設置され、外見上のアクセントになっています。当初は一般の12系と同じ塗装で登場し、尾久客車区のお座敷客車を意味する「オク座」と呼ばれてファンから親しまれました。1987(昭和62)年には車体中央に白い斜め帯が追加され、翌年にはあらたに「なごやか」の愛称が付けられました。

「白樺」は1983(昭和58)年4月から7月にかけてお座敷客車に改造され、長野総合車両所(現:長野総合車両センター)に配置されていた編成です。中間車の片側デッキが埋め込まれた他、緩急車の車掌室側の一部の窓ガラスが固定化され、リクライニングシートが設置された洋間が設置されたことが外見上のアクセントになっています。当初はクリーム10号の塗装+黄緑6号の帯で登場しましたが、1986(昭和61)年夏には帯の緑色14号化が行われ、さらに翌年には内外装を一新し、濃緑色を基調に赤・金の帯を配したシックな装いに改められました。

商品概要

- ・マイクロエース客車シリーズの更なる充実
- ・ジョイフルトレイン「なごやか」「白樺」を従来商品と異なるボディカラーで製品化
- ・テールライト、愛称表示器点灯。LED使用

青20号の車体色。白帯は斜めにも追加された「なごやか」



・各車両の愛称名(旧国名)を側面行先表示幕に印刷済

※反射板の取り付けはできません

※走行には別途機関車が必要です

JR東日本商品化許諾済

編成図 A1851

スロ712-803	オロ12-805	オロ12-806	オロ12-807	オロ12-808	スロ712-804
(相模)	(武蔵)	(安房)	(上野)	(下野)	(常陸)
ライト					ライト

濃緑のボディに金と赤の帯「白樺」



・濃緑色のボディカラーを忠実に再現

※反射板の取り付けはできません

※走行には別途機関車が必要です

JR東日本商品化許諾済

編成図 A1856

スロ712-819	オロ12-837	オロ12-838	オロ12-839	オロ12-840	スロ712-820
(すいせん)	(つつじ)	(かきつばた)	(れんげ)	(くろゆり)	(りんどう)
ライト					ライト

オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー自連・黒:F0003

付属品 愛称幕シール